

第1章 一般相対論のルネッサンス

7

第2章 曲がった時空にいたる真つすぐな道程

25

第3章 光の重力赤方偏移と時計

49

第4章 光の曲がり

73

第5章 水星の近日点移動、勝利が困難か

99

第6章 光の時間の遅れ——遅れないより遅れるほうがいい

119

第7章 地球と月は同じように落ちるか

149

第8章 ブランズ・ディッケ理論の興亡

163

第9章 重力定数は定数か

179

第10章 連星パルサー——重力波は存在した！

201

第11章 実験相対論の最前線

229

第12章 ルネッサンス以後の天文学——一般相対論は役に立つか

249

付録 特殊相対論——疑いの影を越えて

269

参考文献

283

訳者あとがき

285